

薩摩川内 広報

5

May.2020

お知らせ版

No.375



<https://www.city.satsumasendai.lg.jp>

すくすく京セラ号発進



4月15日(水)、薩摩川内市社会福祉協議会で、つくし園の2代目となる通園バス「すくすく京セラ号」の出発式がありました。これは、京セラ鹿児島川内工場から、同協議会への寄附金で導入されたもので、初代のすくすく京セラ号に替わり、子どもたちを乗せて走ります。

春風に乗って 元気を届ける こいのぼり

今年も国道3号太平橋下の河川敷に105匹のこいのぼりが出現。

地元の有志「川内川に鯉のぼりをあげる会」により毎年設置されているもので、特に今年は、明るい話題で市民の目を楽しませたいという思いが込められており、こいのぼりたちは力強く泳いでいました。



花壇いっぱい シバザクラ

平佐町の県道川内山崎線に、鮮やかなシバザクラが咲き誇り、沿道を通る人々の目を楽しませました。これは、平佐西地区コミュニティ協議会と大明神自治会が2015年から作業を行い、約1万株を植え付けたものです。今年の2月に全てが完了し、約580mの美しい花壇が完成しました。



常熟市から感謝のお返しマスク

4月21日(火)、友好都市の中国、常熟市から新型コロナウイルス感染症予防のため、支援物資のマスク5万枚が市に届けられました。

今回の支援は、先に新型コロナウイルス感染拡大の対策として市と川内商工会議所、市企業連携協議会から贈られた4万3,800枚のマスクのお返しで、箱には「薩

摩川内市 頑張れ！」などのメッセージが添えられていました。

常熟市との友好の絆がさらに深まるとともに、贈られたマスクは、医療従事者のマスク確保が厳しい状況にあることから、主に川内市医師会などに引き渡しを行いました。



「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。